

# 各種アンケート調査の結果報告

令和3年12月3日（金）  
第2回交野市基本構想審議会



# 令和2年度「市民意識調査」

## 結果概要

## 調査の概要

調査目的： 「交野市総合計画基本構想」及び「交野市都市計画マスタープラン」の改定にあたり、新型コロナウイルス感染症による生活への影響等を含め、交野市のまちづくりに関する市民の意見等を把握し、今後の計画づくりのための基礎資料とすることを目的として実施。

調査対象： 18歳以上の市民（住民基本台帳による無作為抽出）

調査方法： 郵送配布、郵送回収

調査期間： 令和3年1月15日から同年1月31日まで

回収結果： 配布数 2,000件 有効回収数 1,023件（有効回収率 51.2%）

### 《回答者の属性》

年齢層	回答数	割合
29歳以下	74	7.2%
30歳代	106	10.4%
40歳代	165	16.1%
50～64歳	251	24.5%
65～74歳	218	21.3%
75歳以上	204	19.9%
不明・無回答	5	0.5%

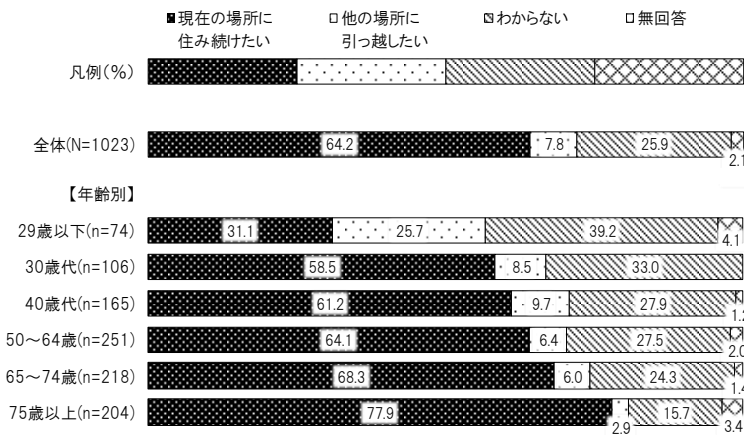
（左表のうち同居の中学生以下の子どもの有無の割合）

年齢層	あり	なし	無回答
29歳以下	16.2%	82.4%	1.4%
30歳代	65.1%	34.9%	0%
40歳代	60.6%	39.4%	0%
50～64歳	14.7%	83.3%	2%
65～74歳	8.7%	87.2%	4.1%
75歳以上	2.9%	91.2%	5.9%

（上表のうち「30・40歳代」と「65歳以上」をまとめた数値）

年齢層	回答数	割合
29歳以下	74	7.2%
30・40歳代	271	26.5%
50～64歳	251	24.5%
65歳以上	422	41.2%
不明・無回答	5	0.5%

## 交野市での定住意向（報告書 P17～ 問 4）



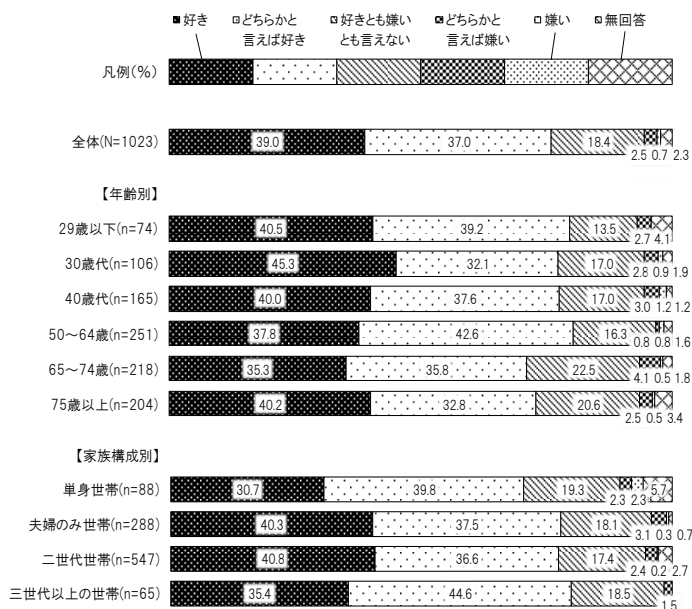
【参考】 平成 24 年度 市民満足度調査結果より

交野市に住みつづけていますか

選択肢	件数	%
1. 住みつづけたい	521	75.8
2. いずれ移転したい	36	5.2
3. すぐにもでも移転したい	2	0.3
4. わからない	114	16.6
5. 無回答	14	2.0

- ・ 全体で「現在の場所に住み続けたい」が 64.2%、「移転したい」が 7.8%である。平成 24 年度の市民満足度調査では「住み続けたい」が 75.8%、「移転したい」が 5.5%であった。  
⇒ 「交野に住み続けたい」の割合は低下したが、「移転したい」の割合に大きな変化はない。「わからない」の割合が増加（【H24→R2】で 9.3%上昇）した分が、「住み続けたい」人の低下につながっているとみられる。
- ・ 年齢別では、29 歳以下で「他の場所に引っ越したい（25.7%）」が他の年齢層を大きく上回っており、「現在の場所に住み続けたい」は年齢が上がるほど割合が高くなる傾向にある。

## 交野市への好意度（報告書 P37～ 問 10）



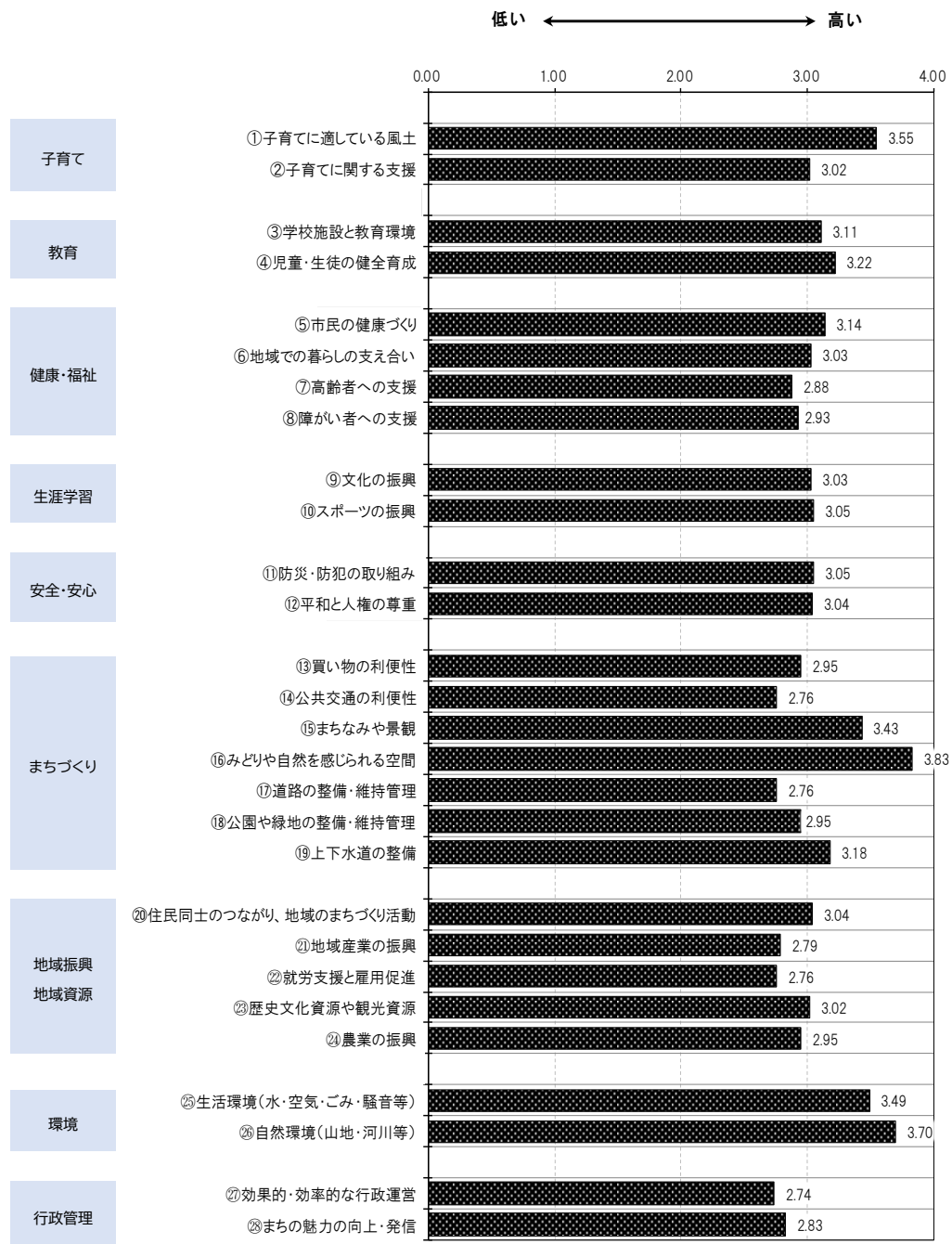
【参考】 平成 24 年度 市民満足度調査結果より

交野が好きですか

選択肢	件数	%
1. 好き	538	78.3
2. きらい	3	0.4
3. どちらでもない	126	18.3
4. 無回答	20	2.9

- ・ 交野市への好意度は、全体で合計 76.0%が『好き』と回答している。平成 24 年度の市民満足度調査では、「好き」が 78.3%であり、市民の好意度は一定高水準を保ち続けている。
- ・ 年齢別での「好き」の割合は、30 歳代が最も高く（45.3%）、65～74 歳が最も低い（35.3%）。
- ・ 家族構成別での「好き」の割合は、単身世帯が最も低い（30.7%）。

交野市での暮らしにおける満足度（報告書 P42～ 問 11）

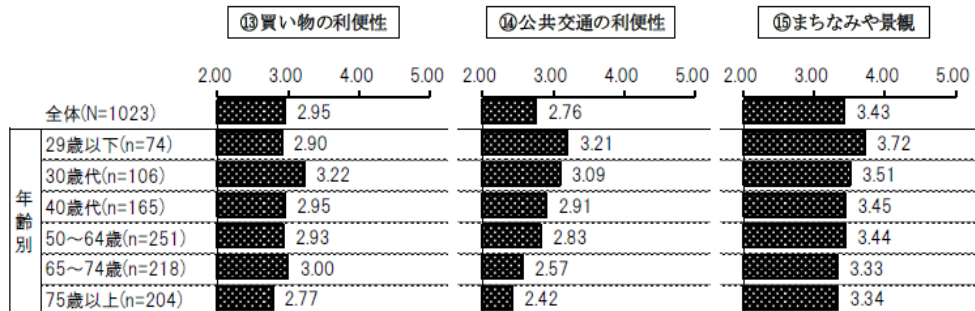
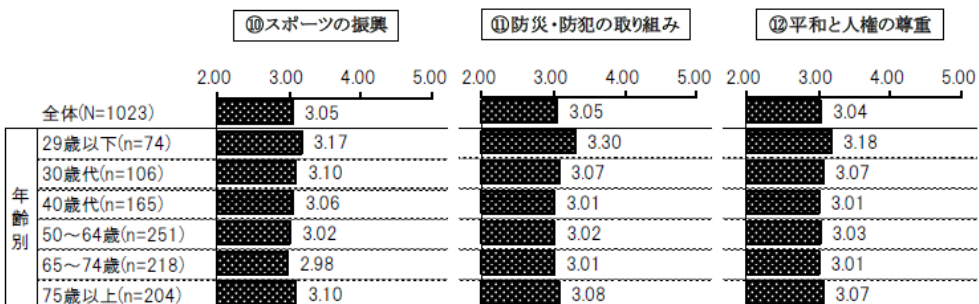
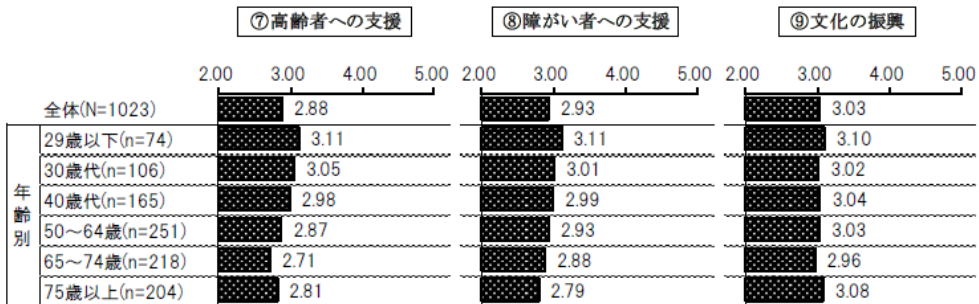
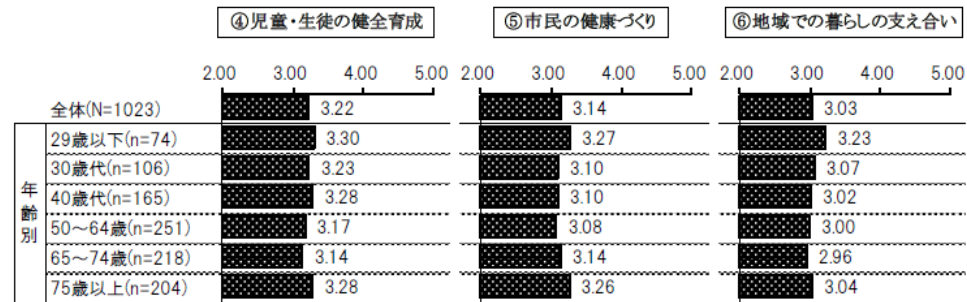
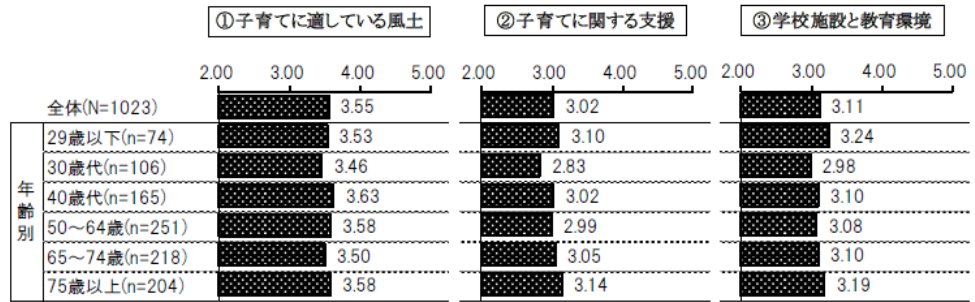


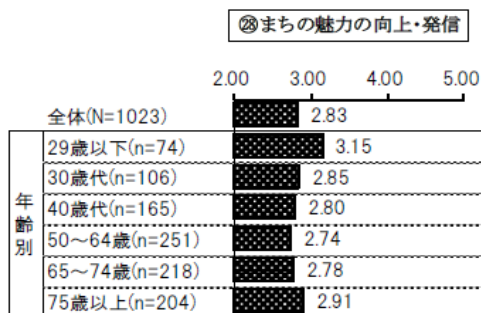
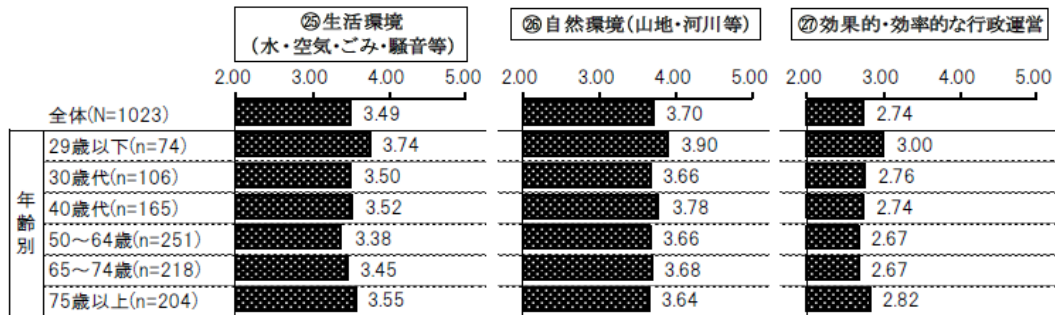
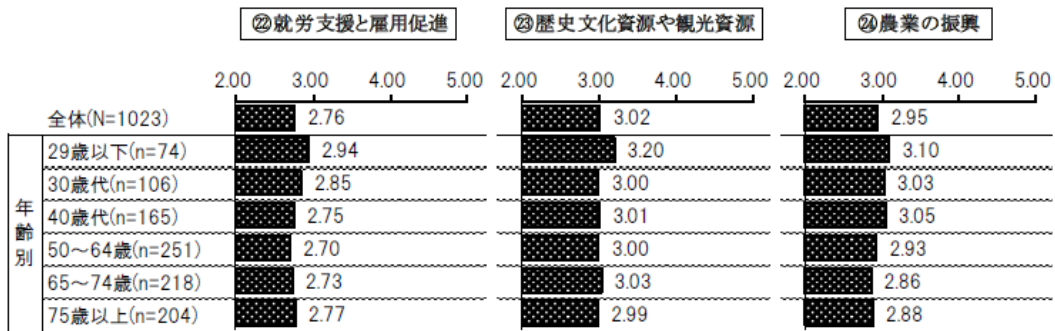
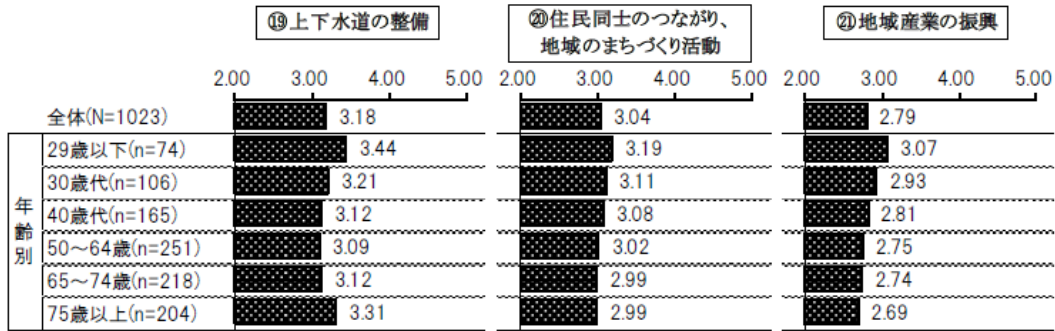
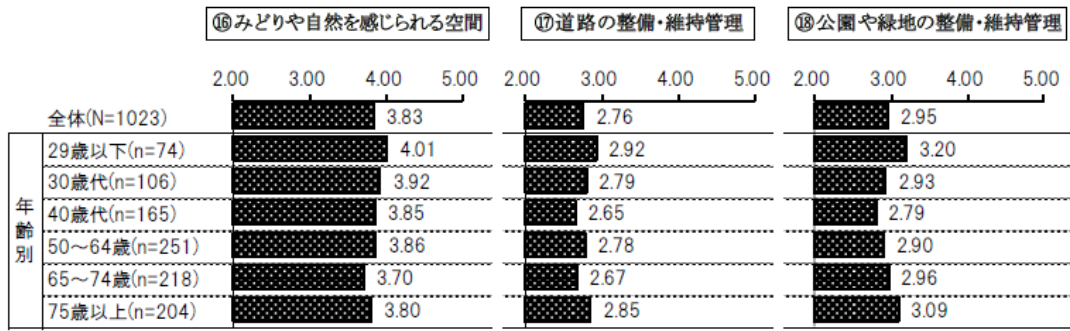
満足度評価が高い項目		
1	⑯みどりや自然を感じられる空間	3.83
2	⑲自然環境(山地・河川等)	3.70
3	①子育てに適している風土	3.55
4	⑲生活環境(水・空気・ごみ・騒音等)	3.49
5	⑮まちなみや景観	3.43

満足度評価が低い項目		
1	㉗効果的・効率的な行政運営	2.74
2	⑭公共交通の利便性	2.76
3	⑰道路の整備・維持管理	2.76
4	㉒就労支援と雇用促進	2.76
5	㉑地域産業の振興	2.79

- ・ 環境（自然環境と生活環境）に関する満足度が高い。
- ・ まちづくりでは、「みどりや自然」「景観」の満足度は高く、反対に「買い物・公共交通の利便性」「道路・公園・緑地の整備・維持管理」は満足度が低い。
- ・ 行政管理、地域振興・地域資源の項目は全体的に満足度が低い。

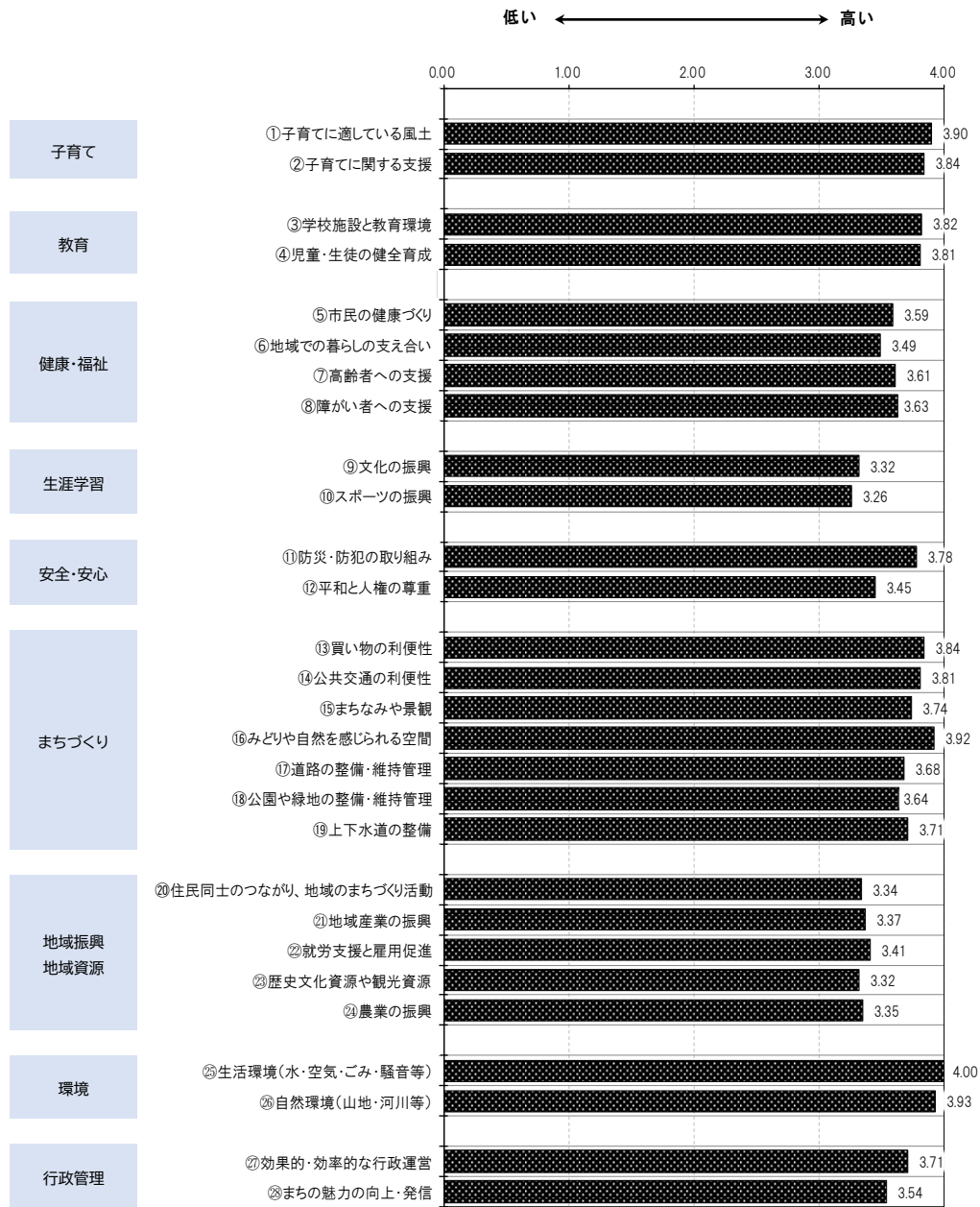
<満足度／年齢別>







交野市の今後のまちづくりにおける重要度（報告書 P46～ 問 11）

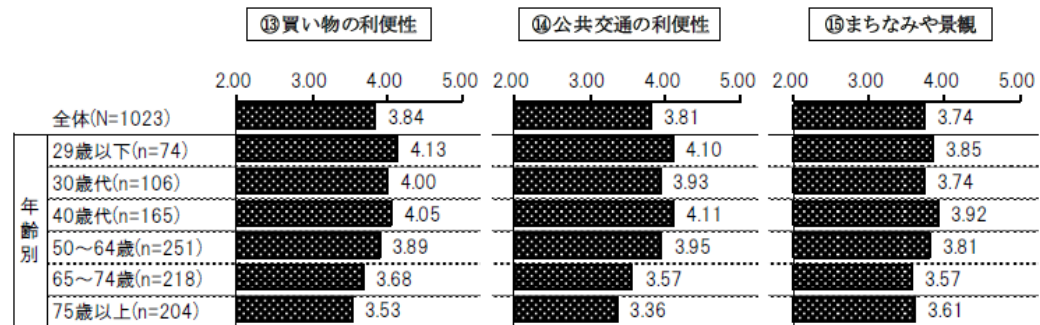
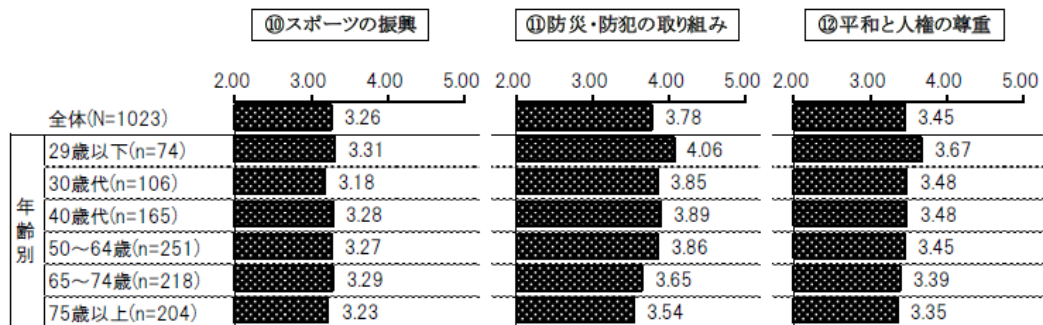
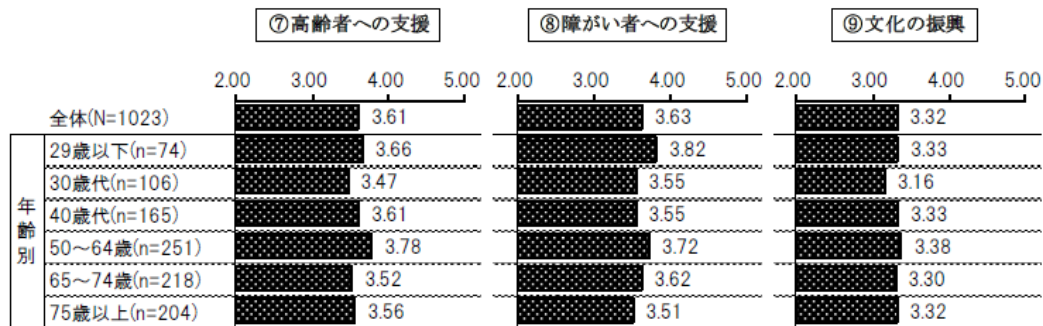
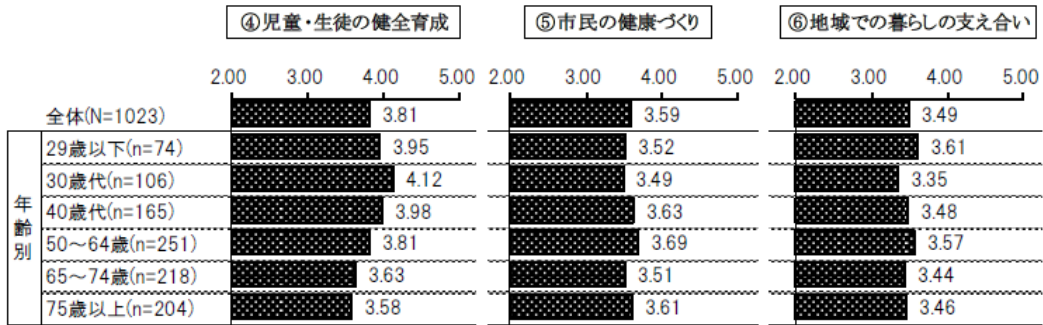
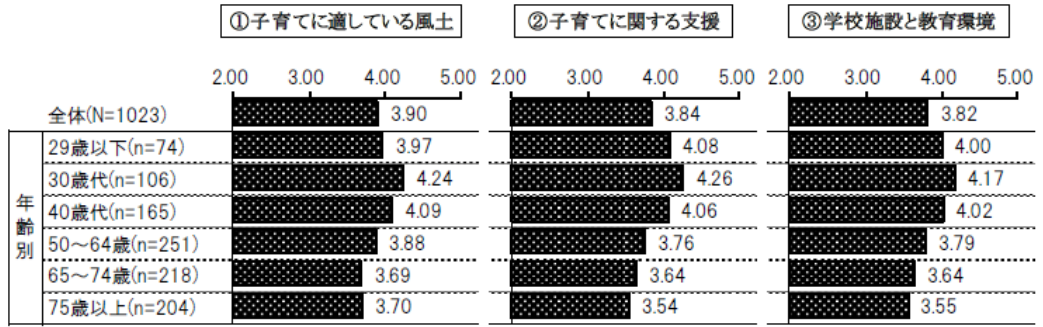


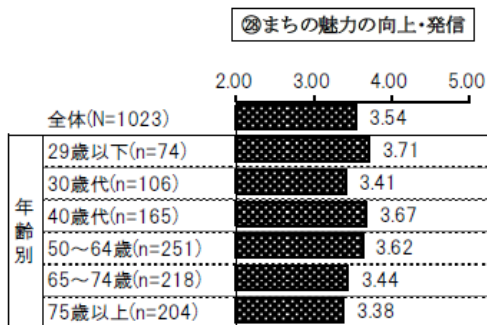
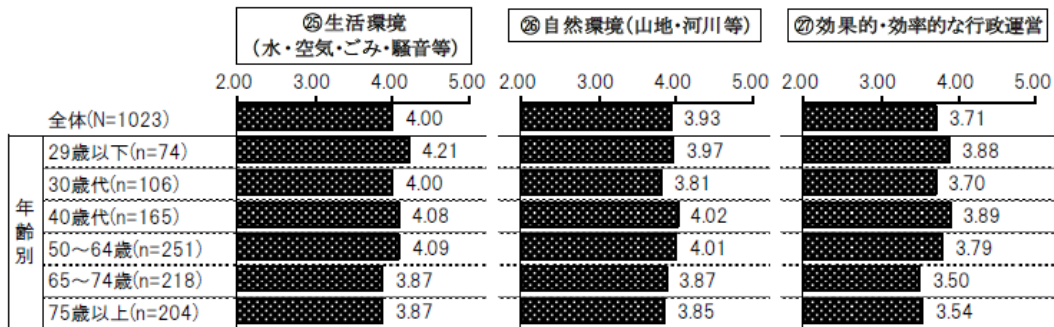
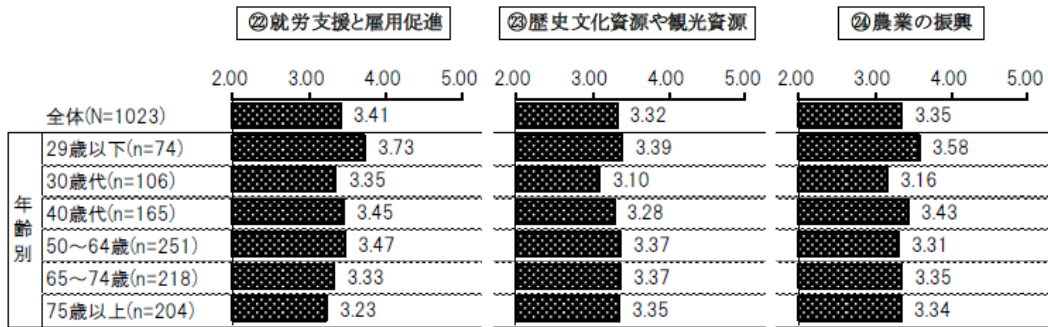
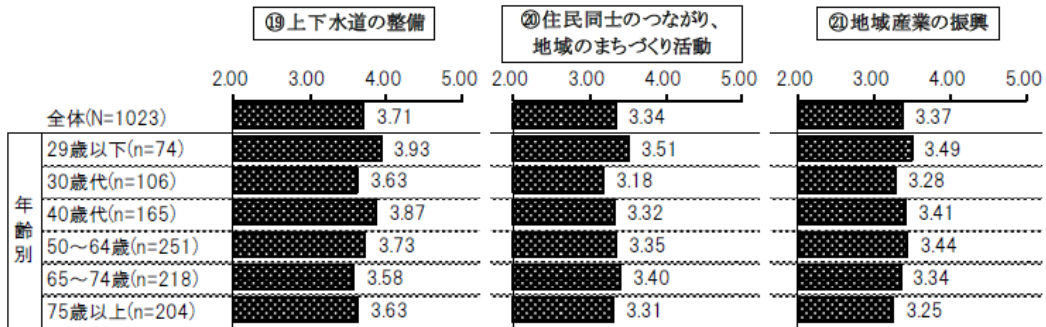
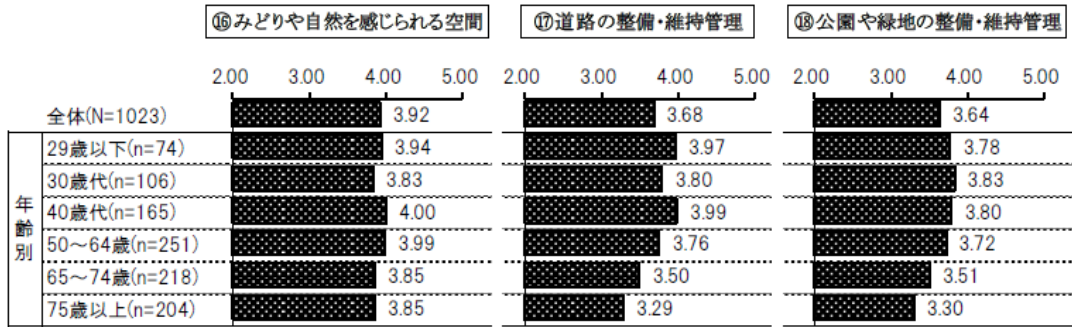
重要度評価が高い項目		
1	㉕生活環境（水・空気・ごみ・騒音等）	4.00
2	㉖自然環境（山地・河川等）	3.93
3	⑯みどりや自然を感じられる空間	3.92
4	①子育てに適している風土	3.90
5	⑬買い物の利便性 ②子育てに関する支援	3.84

重要度評価が低い項目		
1	⑩スポーツの振興	3.26
2	⑨文化の振興	3.32
3	㉓歴史文化資源や観光資源	3.32
4	⑳住民同士のつながり、地域のまちづくり活動	3.34
5	㉔農業の振興	3.35

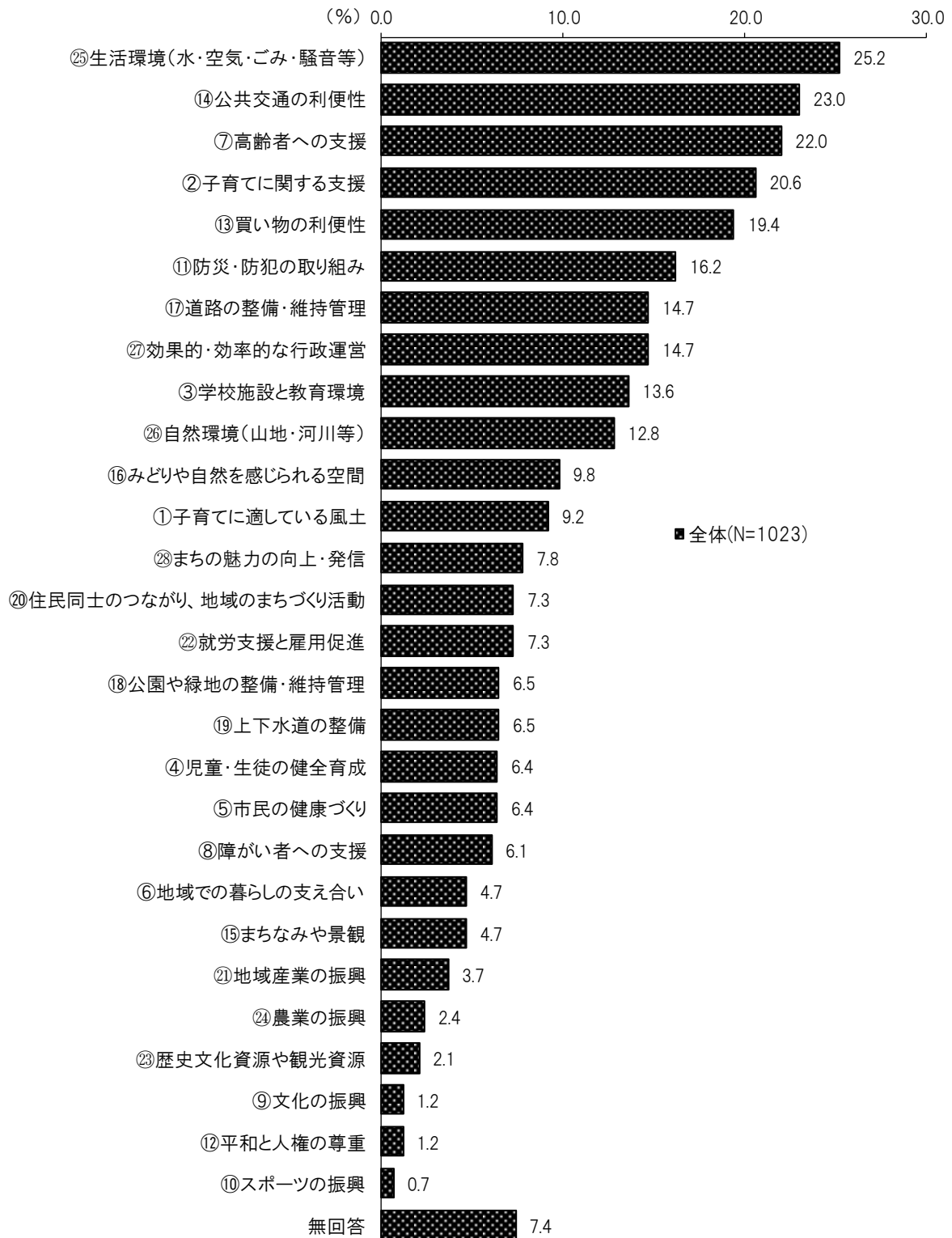
- ・ 環境（生活・自然環境）の重要度が高い（満足度も高い）。
- ・ 子育てに関する項目、買い物の利便性の重要度が高い。
- ・ 生涯学習や地域振興・地域資源への重要度が全体的に低い。

<重要度/年齢別>





28項目のうち、今後において特に重要と思うこと（報告書 P57～ 問 11）



※回答は3つまでの複数回答

単位 (%)	②生活環境(水・空気・ごみ・騒音等)	⑭公共交通の利便性	⑦高齢者への支援	②子育てに関する支援	⑬買い物の利便性	①防災・防犯の取り組み	⑰道路の整備・維持管理	⑯効果的・効率的な行政運営	③学校施設と教育環境	⑮自然環境(山地・河川等)	⑩みどりや自然を感じられる空間	①子育てに適している風土	⑧まちの魅力の向上・発信	⑫住民同士のつながり、地域のまちづくり活動
全体(N=1023)	25.2	23.0	22.0	20.6	19.4	16.2	14.7	14.7	13.6	12.8	9.8	9.2	7.8	7.3
【性別】														
男性(n=370)	25.9	22.7	20.8	21.9	16.5	17.0	17.8	14.9	13.5	15.1	10.8	11.1	7.6	6.5
女性(n=427)	25.8	24.6	22.0	23.4	22.5	17.8	12.9	15.2	16.9	10.3	8.4	7.3	8.0	7.7
【年齢別】														
29歳以下(n=74)	18.9	23.0	13.5	35.1	24.3	13.5	14.9	17.6	6.8	10.8	12.2	9.5	2.7	5.4
30歳代(n=106)	13.2	16.0	14.2	49.1	21.7	14.2	10.4	9.4	31.1	10.4	9.4	22.6	5.7	2.8
40歳代(n=165)	19.4	22.4	17.0	33.9	20.0	15.2	19.4	13.3	26.1	9.7	13.9	10.9	8.5	3.6
50～64歳(n=251)	33.5	23.5	24.3	15.5	20.3	19.9	12.0	15.5	11.2	16.3	10.4	10.8	10.0	5.6
65～74歳(n=218)	28.4	22.0	25.2	10.6	17.4	16.1	16.5	19.3	8.3	13.3	9.2	5.5	6.9	11.0
75歳以上(n=204)	24.5	27.5	26.5	7.4	16.7	14.7	14.7	11.8	5.9	12.7	5.9	2.9	8.8	11.8

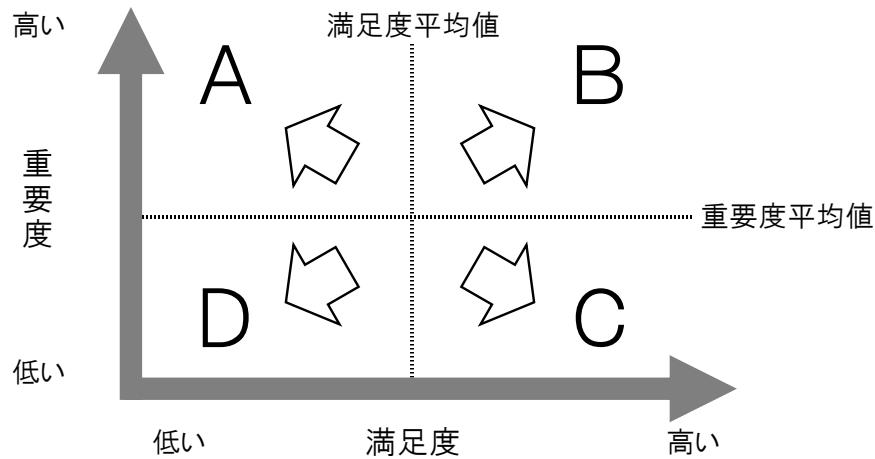
単位 (%)	②就労支援と雇用促進	⑮公園や緑地の整備・維持管理	⑰上下水道の整備	④児童・生徒の健全育成	⑤市民の健康づくり	⑧障がい者への支援	⑥地域での暮らしの支え合い	⑮まちなみや景観	⑫地域産業の振興	⑭農業の振興	⑬歴史文化資源や観光資源	⑨文化の振興	⑫平和と人権の尊重	⑩スポーツの振興
全体(N=1023)	7.3	6.5	6.5	6.4	6.4	6.1	4.7	4.7	3.7	2.4	2.1	1.2	1.2	0.7
【性別】														
男性(n=370)	5.4	5.9	5.9	7.6	7.0	6.2	5.1	7.3	4.3	2.4	2.7	1.4	1.6	0.8
女性(n=427)	9.1	6.8	5.6	6.6	6.1	5.6	4.9	3.0	3.3	1.4	1.6	0.9	0.9	0.7
【年齢別】														
29歳以下(n=74)	8.1	1.4	4.1	12.2	5.4	9.5	4.1	8.1	0.0	2.7	4.1	1.4	1.4	1.4
30歳代(n=106)	9.4	12.3	2.8	8.5	5.7	6.6	0.9	4.7	2.8	0.9	0.9	0.0	1.9	0.9
40歳代(n=165)	5.5	6.7	6.7	8.5	4.2	4.8	5.5	4.8	5.5	3.0	1.2	0.6	1.8	1.8
50～64歳(n=251)	10.0	5.2	6.4	5.6	5.6	7.2	3.6	6.0	4.0	2.4	1.6	2.4	0.8	0.0
65～74歳(n=218)	6.9	8.3	9.2	2.8	7.8	4.6	4.1	4.6	4.6	2.3	3.7	0.9	0.9	0.5
75歳以上(n=204)	4.9	4.9	6.4	6.4	7.4	5.9	8.3	2.0	2.9	2.9	1.5	1.0	1.0	0.5

【上表のうち年齢別で数値が高い項目】

29歳以下	② 子育てに関する支援 (35.1%) ⑬ 買い物の利便性 (24.3%) ⑭ 公共交通の利便性 (23.0%)
30歳代	② 子育てに関する支援 (49.1%) ③ 学校施設と教育環境 (31.1%) ① 子育てに適している風土 (22.6%)
40歳代	② 子育てに関する支援 (33.9%) ③ 学校施設と教育環境 (26.1%) ⑭ 公共交通の利便性 (22.4%)
50～64歳	⑮ 生活環境(水・空気・ごみ・騒音等) (33.5%) ⑦ 高齢者への支援 (24.3%) ⑭ 公共交通の利便性 (23.5%)
65～74歳	⑮ 生活環境(水・空気・ごみ・騒音等) (28.4%) ⑦ 高齢者への支援 (25.2%) ⑭ 公共交通の利便性 (22.0%)
75歳以上	⑭ 公共交通の利便性 (27.5%) ⑦ 高齢者への支援 (26.5%) ⑮ 生活環境(水・空気・ごみ・騒音等) (24.5%)

## 満足度と重要度の相関図（報告書 P53～ 問 11）

28 の項目の満足度と重要度の平均値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度とする散布図を作成するとともに、A～Dの4つの領域に区分し、28 の項目がそれぞれの領域に配置されるのか整理を行った。



### A. 重要度が高く、満足度が低い

⇒【重点化・見直し領域】

施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、満足度を高める必要のある領域。

### B. 重要度、満足度ともに高い

⇒【現状維持領域】

現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

### C. 重要度が低く、満足度が高い

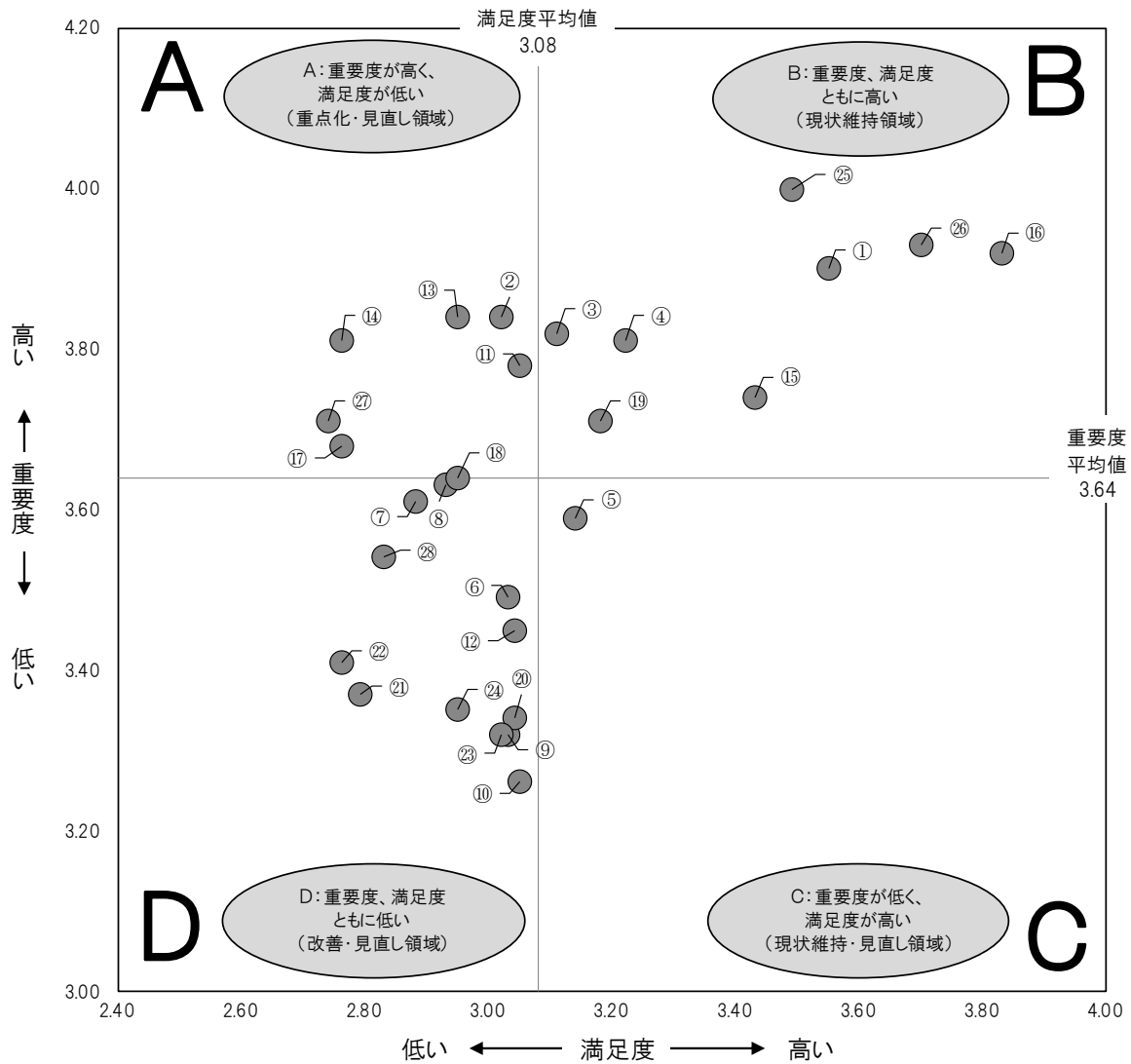
⇒【現状維持・見直し領域】

満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて、見直すべき必要のある領域。

### D. 重要度、満足度ともに低い

⇒【改善・見直し領域】

施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものを、改めて見直す必要のある領域。



【子育て】	領域
①子育てに適している風土	B
②子育てに関する支援	A
【教育】	領域
③学校施設と教育環境	B
④児童・生徒の健全育成	B
【健康・福祉】	領域
⑤市民の健康づくり	C
⑥地域での暮らしの支え合い	D
⑦高齢者への支援	D
⑧障がい者への支援	D
【生涯学習】	領域
⑨文化の振興	D
⑩スポーツの振興	D
【安全・安心】	領域
⑪防災・防犯の取り組み	A
⑫平和と人権の尊重	D

【まちづくり】	領域
⑬買い物利便性	A
⑭公共交通利便性	A
⑮まちなみや景観	B
⑯みどりや自然を感じられる空間	B
⑰道路の整備・維持管理	A
⑱公園や緑地の整備・維持管理	A
⑲上下水道の整備	B
【地域振興・地域資源】	領域
⑳住民同士のつながり、地域のまちづくり活動	D
㉑地域産業の振興	D
㉒就労支援と雇用促進	D
㉓歴史文化資源や観光資源	D
㉔農業の振興	D
【環境】	領域
㉕生活環境 (水・空気・ごみ・騒音等)	B
㉖自然環境 (山地・河川等)	B
【行政管理】	領域
㉗効果的・効率的な行政運営	A
㉘まちの魅力の向上・発信	D

【A：重点化・見直し領域】に含まれる項目

項目	満足度	重要度 <sup>※1</sup>
② 子育てに関する支援	3.02	3.84
⑬ 買い物の利便性	2.95	3.84
⑭ 公共交通の利便性	2.76	3.81
⑪ 防災・防犯の取り組み	3.05	3.78
⑳ 効果的・効率的な行政運営	2.74	3.71
⑰ 道路の整備・維持管理	2.76	3.68
⑱ 公園や緑地の整備・維持管理 <sup>※2</sup>	2.95	3.64

※1 表中の項目は、「重要度」が高い順に並べ替えている。  
 ※2 「⑱公園や緑地の整備・維持管理」はAに分類している。

【B：現状維持領域】に含まれる項目

項目	満足度	重要度
㉕ 生活環境（水・空気・ごみ・騒音等）	3.49	4.00
㉖ 自然環境（山地・河川等）	3.70	3.93
⑯ みどりや自然を感じられる空間	3.83	3.92
① 子育てに適している風土	3.55	3.90
③ 学校施設と教育環境	3.11	3.82
④ 児童・生徒の健全育成	3.22	3.81
⑮ まちなみや景観	3.43	3.74
⑲ 上下水道の整備	3.18	3.71

【C：現状維持・見直し領域】に含まれる項目

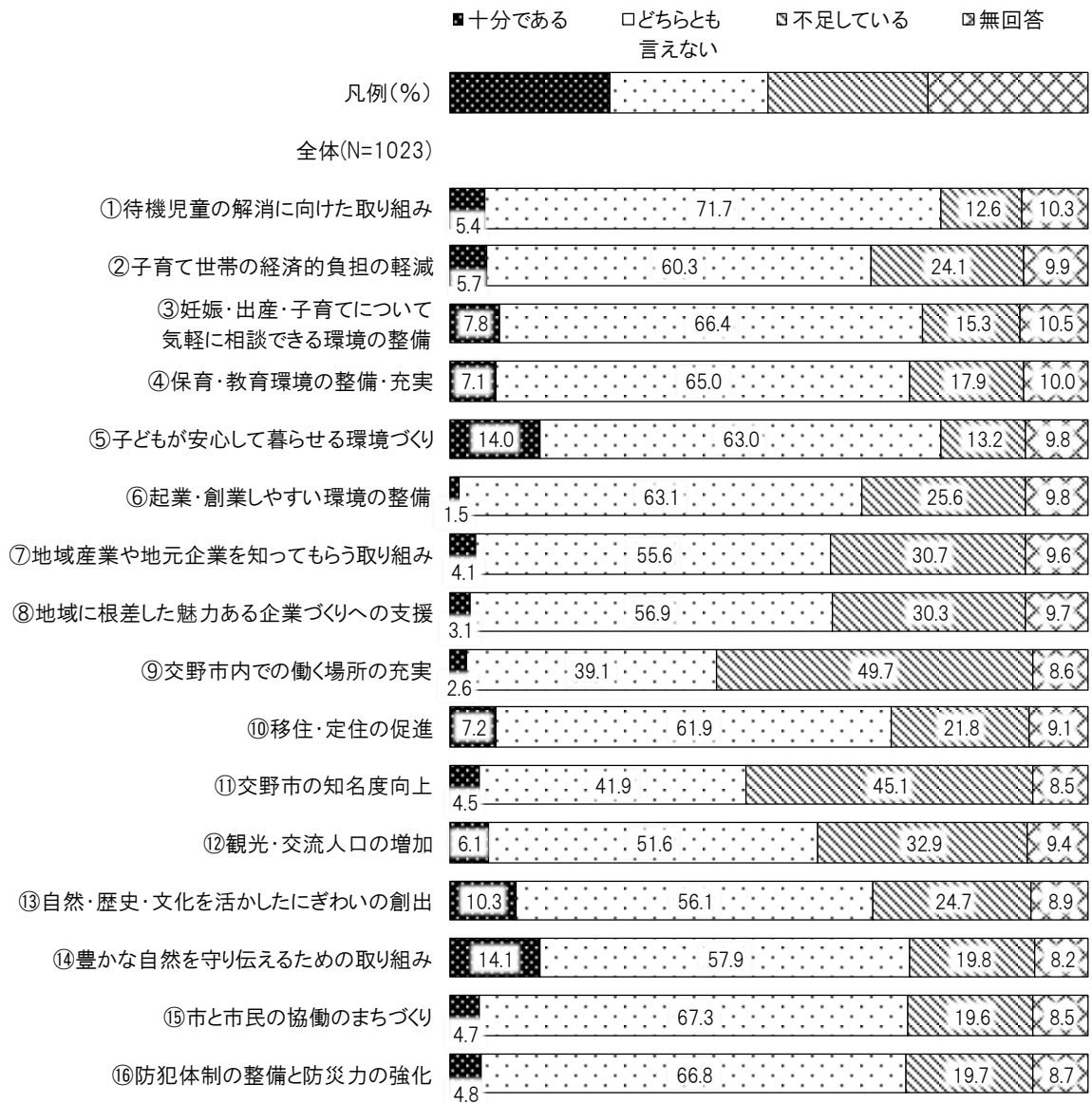
項目	満足度	重要度
⑤ 市民の健康づくり	3.14	3.59

【D：改善・見直し領域】に含まれる項目

項目	満足度	重要度
⑧ 障がい者への支援	2.93	3.63
⑦ 高齢者への支援	2.88	3.61
㉘ まちの魅力の向上・発信	2.83	3.54
⑥ 地域での暮らしの支え合い	3.03	3.49
⑫ 平和と人権の尊重	3.04	3.45
㉙ 就労支援と雇用促進	2.76	3.41
㉚ 地域産業の振興	2.79	3.37
㉛ 農業の振興	2.95	3.35
⑳ 住民同士のつながり、地域のまちづくり活動	3.04	3.34
⑨ 文化の振興	3.03	3.32
㉜ 歴史文化資源や観光資源	3.02	3.32
⑩ スポーツの振興	3.05	3.26

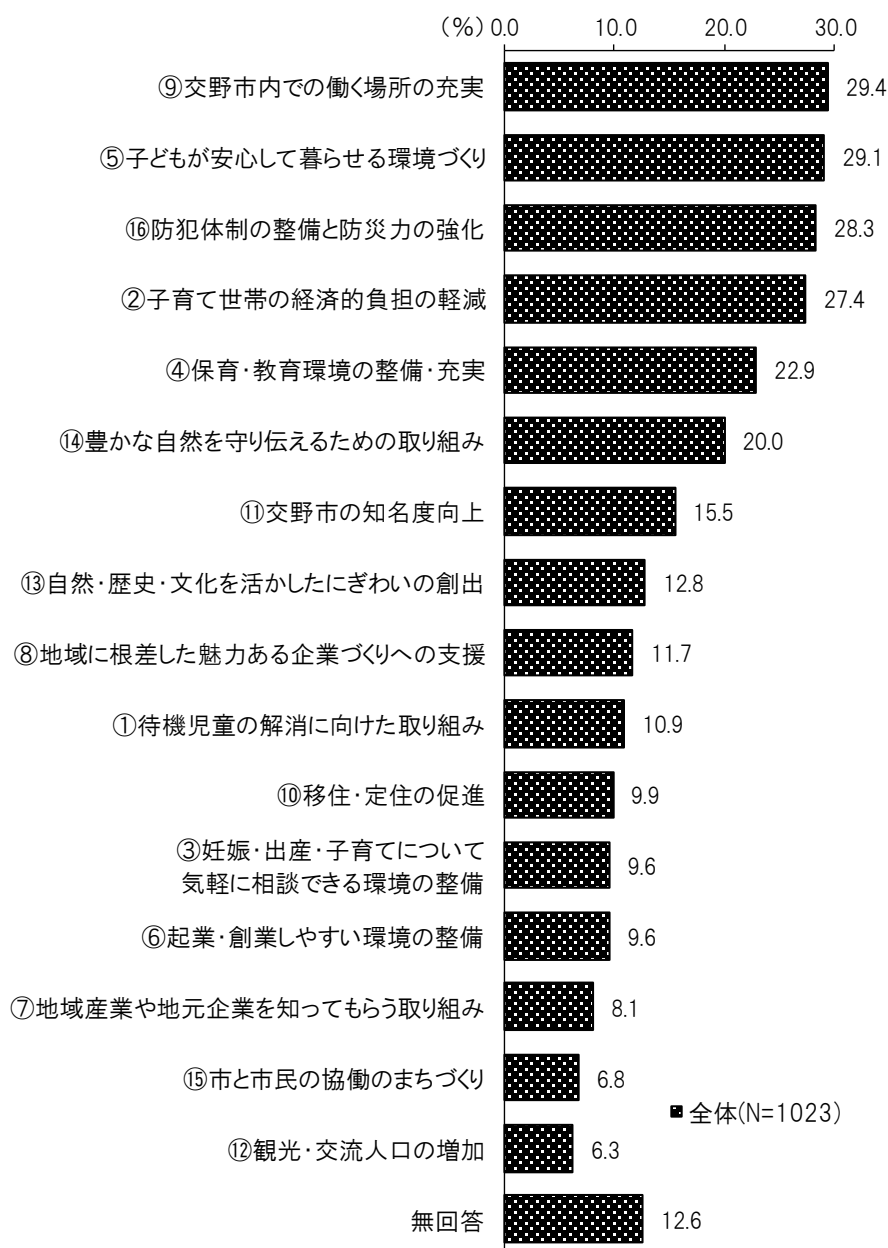


交野市の人口減少の取り組みについて（報告書 P62 問 13）



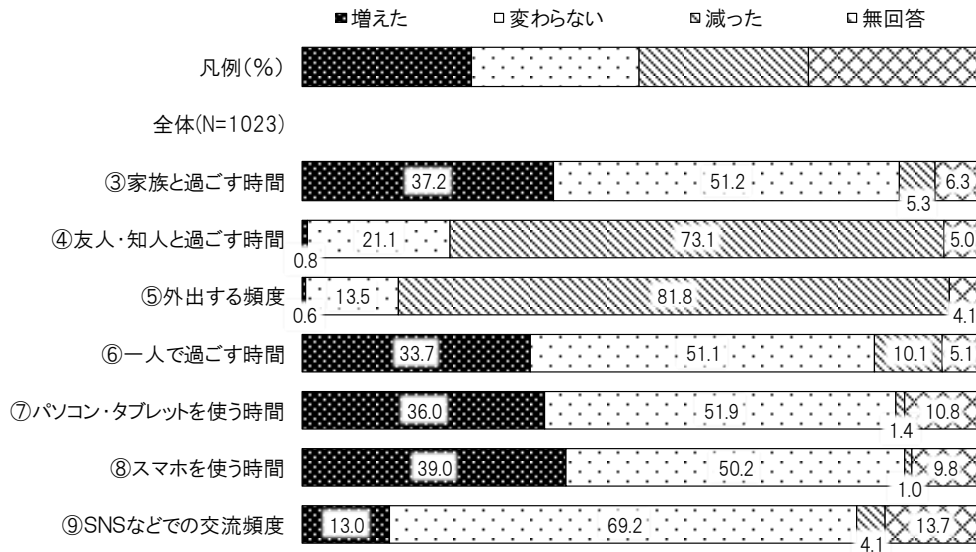
- ・市民からは人口減少対策の取り組みの効果は把握しづらく、全体的に「わからない」の割合が高くなったと考えられる。
- ・「⑤子どもが安心して暮らせる環境づくり」のみ、「十分である（14.0%）」が「不足している（13.2%）」を上回った結果となっている。
- ・「不足している」の割合の高い項目に関連する取り組みでは、「地域産業の振興」や「まちの魅力の向上・発信」が重複して挙げられる。

人口減少対策で特に重要と思うことについて（報告書 P63 問 13）



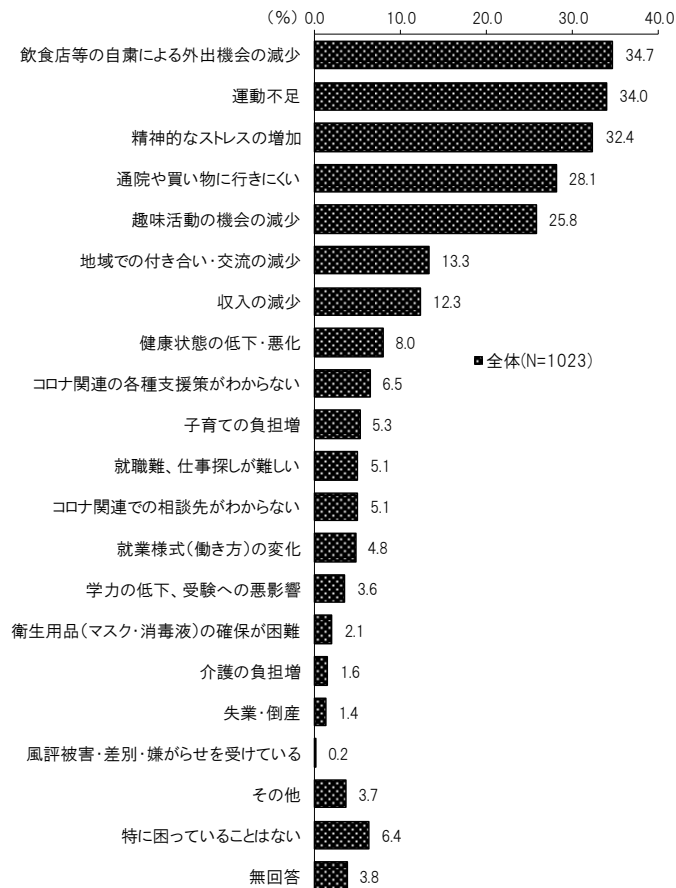
- ・ 重要だと思う項目の関連する主な取り組みは以下のとおり  
「地域産業の振興」「雇用促進」「子育て支援」「防犯・防災」「学校施設と教育環境」

## 新型コロナウイルス感染症による生活の変化（報告書 P106 問 18）



- ・「変わらない」の割合に次いで「増えた」の割合が高い項目  
 「③家族と過ごす時間」「⑥一人で過ごす時間」「⑦パソコン・タブレットを使う時間」  
 「⑧スマホを使う時間」
- ・「変わらない」の割合が高い項目  
 「⑨SNSなどでの交流頻度」
- ・「減った」の割合が高い項目  
 「④友人・知人と過ごす時間」「⑤外出する頻度」

## 新型コロナウイルス感染症により困っていること（報告書 P116 問 19）





# 地区に対するアンケート 調査結果

## (1) 調査概要

- 調査目的： 交野市第5次総合計画基本構想の策定にあたり、地域の抱える課題や実情を把握するため、全地区を対象にアンケート調査を実施
- 調査方法： 区長会にて各地区長へ直接配布、郵送回収
- 調査期間： 令和3年11月4日から同年11月18日まで
- 回収結果： 配布数 23地区 有効回収数 20地区

## (2) 結果概要

各設問に対して地区より次の回答があった。(一部重複していた回答は集約しています。)

問1) 交野市が今後どのようなまちになれば良いと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>若い世代（子育て世代）が魅力を感じるまち</b><ul style="list-style-type: none"><li>・子育て世代への支援や就業機会が充実したまち</li><li>・若い住民を呼び込む魅力ある住環境が整っているまち</li></ul></li><li>■ <b>住んでみたい、住み続けたいと思えるまち</b><ul style="list-style-type: none"><li>・他市の方が外から見て住んでみたい、交野市民は住み続けたいと思える、安心・安全で活気のある子どもたちの笑顔あふれるまち</li><li>・観光事業に特化した、子供たちが住んで楽しいまち、住み続けたいと思うまち</li><li>・利便性のよいまち</li></ul></li><li>■ <b>安心した学校生活を送れるまち</b><ul style="list-style-type: none"><li>・利用者の意向を踏まえた教育環境の整備が進められるまち</li></ul></li><li>■ <b>お互いに助け合い、絆を深め合えるまち</b><ul style="list-style-type: none"><li>・地域が連携し、お互いに助け合い、身近な人づきあいができるまち</li><li>・町内会レベルの地域コミュニティ活動の支援ができるまち</li><li>・地域での子育て支援活動を後押しできるまち</li></ul></li><li>■ <b>自然と文化を大切にすまち</b><ul style="list-style-type: none"><li>・市民憲章やシンボルマークが示す市民一人一人のふるさとになるようなまち</li><li>・豊かな自然と便利さのバランスのとれたまち</li><li>・豊かで美しい自然が維持管理され、それを生かせるまち</li><li>・安全にハイキングを楽しめるまち</li></ul></li><li>■ <b>企業誘致による活力あふれるまち</b><ul style="list-style-type: none"><li>・(第二京阪道路の交通網等も活用し) 民間企業の積極的な誘致を行い、市内で働く場所を確保できるまち</li></ul></li><li>■ <b>ずっと健康で暮らせるまち</b><ul style="list-style-type: none"><li>・スポーツ設備が充実しており、長く健康でいられるまち</li></ul></li><li>■ <b>防災に強いまち</b><ul style="list-style-type: none"><li>・災害に備え、(インフラ整備を含めた) 対策が取られているまち</li><li>・土砂災害の未然防止を含めた山間部が整備されたまち</li></ul></li></ul>

#### ■ 福祉の充実したやさしいまち

- 行政、民間企業、各地域の団体等が連携できる体制が整ったまち
- 地域実態に応じたキメ細かい外出支援ができるまち
- 高齢者が外出する際の移動手段に困らないまち

#### ■ 情報が行き届くまち

- 情報のネットワークの行き届いたまち

問2) 問1でご記入いただいたようなまちになるために、貴地区で取り組むことが考えられる活動があればご記入ください。

#### ■ 地域での交流・親睦

- 多世代の交流・親睦活動
- 地域行事における幼児・子ども向け企画の開催
- コンテンツ（例：京阪電車トーマス号など）を活用した催しの実施
- 校区福祉の進める“子育てサロン”活動の支援
- 自治会館を中心にサークル活動への支援
- 外出機会を増やす地域行事の実施
- 子ども達が将来親元に帰ってきやすいまちとなるための地域活動の実施
- 町内会、子ども会、老人クラブ、校区福祉委員会などのコミュニティレベルの活動への支援

#### ■ 防災・防犯

- 自主防災・防犯活動
- 地域情報チラシ（自治会ニュース等）を通じた防災意識の高揚
- 自営避難所運営の充実（避難所までの足の確保等）
- 防犯灯、防犯カメラの設置
- 水利組合との連携による雨水対策
- 消防OBや区役員OBなどへ「防災士」の資格取得を促すとともに、災害時に対応する組織を構築

#### ■ その他の地域活動

- 地域における清掃活動
- 市と地域との連携による交通手段の検討
- 空き家の把握や独居老人の確認
- 子どもや高齢者の見守り活動
- 地域での見回り活動や、隣近所への呼びかけ
- 山間部の保全に対する啓発活動

問3) 問2で貴地区がご記入いただいたような活動に取り組むために、市に期待することがあればご記入ください。

■ 駅周辺の賑わい創出

- 交野市駅周辺にもっと活気があふれるよう対策いただきたい。

■ 地区の区割り等の見直し検討

- 地区の区域と、福祉の校区の区域が一致しておらず、地区のコミュニティが分断しているように感じているため、区割りの見直しの検討を願いたい。

■ 地区の課題を踏まえた公共交通の充実（高齢者の外出支援含む）

- 地形や現在のバスの運行状況等を踏まえ、山間部の高齢者が外出するのに困難にならないよう交通手段の充実を図っていただきたい。

■ 空家を活用した若い世代の流入促進

- 空家や空家予備軍が増加してきているため、それらが活用され、若い人たちの流入につながるよう積極的な介入をお願いしたい。

■ 市と地区とのより一層の連携

- 地区での取り組みは、市からのバックアップがあればこそという部分が多く、今後も充実したバックアップを期待したい。

■ 地域の活性化

- 区レベルでのコミュニティ活動に対する市の直接的な支援

■ 回覧板の積極活用

- 町内会・自治会加入を促すため、重要な情報を回覧板で得られるような体制をお願いしたい。特に賃貸住宅を経営する企業には、居住者に地域コミュニティ参加を促すよう指導をお願いしたい。

■ 福祉拠点、災害時の避難拠点の整備

- 天野川より西の地域には大きな公共施設が配置されていない。今後の高齢者の増加を見据え、拠点となる福祉施設を整備いただきたい。また、施設一体型小中一貫校を整備し、指定避難場所としての新たな拠点を早期に実現いただきたい。

■ 高齢者対策

- 老老介護となっている世帯は、一人が倒れても外部に連絡ができない。そのような場合でも外部に知らせる方法を検討いただきたい。
- 個人情報保護の関係により、高齢者問題に地区として対応しようにも情報が提供されないため、個人情報の取り扱いについて検討いただきたい。

■ 治水対策

- 内水氾濫に対する全体計画の策定

■ 財政的な支援（※キーワードのみ）



問4) その他ご意見があれば、自由にご記入ください。

■ 道路の拡張

- 歩道が少なく、道路も狭い。第二京阪道路の開通に伴い、幅員の狭い道路の交通量も増加している。次期総合計画では、道路整備を中心としたまちづくりを検討いただきたい。

■ 市民が憩う場所の確保（公園の整備など）

- 長法寺小学校の跡地には、親子で遊べるような大きめの公園を整備いただきたい。

■ 公共施設の合同化

- 公共施設の合同化を進め、空いた土地を公園や災害時一時避難場所のスペースとして活用いただきたい。

■ 自動車の交通対策

- 自転車や自動車のスピード抑制に係る検討をいただきたい。

■ 農耕地の現況

- 就農者が高齢で、後継者が居ない農家が多い。

■ 観光に特化した事業展開

- 子供世代を中心にフォーカスした、観光事業に着手すべきと考える。（子供がキーワード）

■ 市の遊休土地の有効活用

- 遊休土地を民間に売却し、有効活用を図っていただきたい。（利用率の悪い公園等含む）

■ JR新駅の誘致（※キーワードのみ）



# 転入出者アンケート 調査結果

### (1) 転入出者アンケートの調査概要

調査目的： 本市総合戦略をもとに様々な施策の実施を図っていくとともに、移住・定住の促進策を検討するにあたり、転入者および転出者がどのような実態で移動しているのかを明らかにするために実施した。

調査方法： 平成30年～令和2年にかけて、転入出者を対象とした市民アンケートを3回実施。各年の3月～5月の期間に、市民課・星田出張所窓口で対象者にアンケート調査票を配布し、記入を依頼する方法で行った。

回収結果： 下表のとおり

#### 【 転入者 】

年齢層	回答者数 ※	割合
10 歳代	17 人	3.2%
20 歳代	213 人	40.2%
30 歳代	132 人	24.9%
40 歳代	84 人	15.8%
50 歳代	47 人	8.9%
60 歳代	20 人	3.8%
70 歳以上	17 人	3.2%
合計	530 人	100%

※回答者数は3回分の合計

#### 【 転出者 】

年齢層	回答者数 ※	割合
10 歳代	58 人	5.8%
20 歳代	515 人	51.9%
30 歳代	171 人	17.2%
40 歳代	106 人	10.7%
50 歳代	80 人	8.1%
60 歳代	37 人	3.7%
70 歳以上	26 人	2.6%
合計	993 人	100%

※回答者数は3回分の合計

## (2) 転入アンケート結果概要

### ① 転入前の居住地域

	第1回 (H30)	第2回 (R1)	第3回 (R2)
大阪府内	50.5%	40.5%	50.0%
北河内地域	25.6%	22.3%	31.0%
枚方市	16.5%	11.6%	23.0%
寝屋川市	3.9%	5.0%	5.0%
守口市	2.9%	0.8%	0.0%
門真市	1.0%	2.5%	2.0%
四條畷市	0.3%	0.8%	0.0%
大東市	1.0%	1.6%	1.0%
大阪市	9.6%	9.1%	6.0%
近畿地方 (大阪府を除く)	18.4%	19.8%	15.0%
関東地方	7.8%	16.5%	11.0%
その他	23.3%	23.2%	24.0%

- ・ 交野市への転入者は、府内の他市町村からの転入がおおよそ半分を占めている。
- ・ 府内市町村の中でも、枚方市、大阪市、寝屋川市から転入しているケースが多かった。

② 交野市への転入理由について（複数回答可）

《上位項目の状況》

※回答者数に対する割合

回答項目	第1回(H30)	第2回(R1)	第3回(R2)
転入のきっかけ			
仕事関係（第1回は進学含む）	39.8%	52.1%	32.7%
より良い住環境を求めて	16.5%	11.6%	8.4%
結婚・パートナーとの同居	15.5%	9.9%	11.2%
借家から持ち家への住み替え	10.0%	7.4%	9.3%
親(または子)との同居・近居	5.2%	—	6.5%
交野市を選んだ理由			
職場・学校に通いやすい	28.2%	33.9%	30.6%
親世代(子世代)と同居・近居	21.4%	19.0%	13.5%
良い物件があった (建物自体が気に入った)	22.7%	15.7%	11.7%
治安が良い	12.6%	15.7%	8.6%
地域の雰囲気が良い	15.9%	10.7%	8.0%

- ・ 交野市への転入のきっかけとして多いのは、仕事関係（就職、転職）や結婚に伴うものであり、交野市を選んだ理由としては、いずれの回においても「職場・学校への通いやすさ」が最も多く挙げられた。交野市の立地や交通アクセスの良さへの評価が転入先の決定に繋がったものと考えられる。
- ・ 交野市の「治安の良さ」や「地域の雰囲気」などの住環境の良さに関する部分についても一定の評価がなされているものと考えられる。

(3) 転出アンケート結果概要

① 転出先の居住地域

	第1回 (H30)	第2回 (R1)	第3回 (R2)
近畿地方への転出割合	61.8%	58.8%	69.9%
うち、大阪府内の市町村へ転出した割合	41.7%	39.5%	47.5%
うち、大阪府以外の近畿府県に転出した割合	20.1%	19.3%	22.4%
関東地方への転出割合	19.4%	20.2%	13.7%
その他	18.8%	21.0%	16.4%

- ・交野市からの転出者は、近畿地方内での転居を行う割合が高く、近隣他府県への移動よりも、大阪府内の市町村へ転出しているケースが多かった。
- ・次いで、関東地方への転出が多い結果となっている。

② 交野市からの転出理由について

《上位項目の状況》

※回答者数に対する割合

回答項目	第1回 (H30)	第2回 (R1)	第3回 (R2)
転出のきっかけ			
仕事関係 (第1回は進学含む)	60.7%	52.9%	42.1%
結婚・パートナーとの同居	14.7%	15.2%	15.8%
より良い住環境を求めて	6.0%	4.1%	8.4%
借家から持ち家への住み替え	3.4%	4.4%	3.7%
親(または子)との同居・近居	1.9%	—	4.8%
転出先市町村を選んだ理由			
職場・学校に通いやすい	51.1%	52.6%	31.8%
交通の便が良い	14.1%	19.0%	8.8%
買い物など日常生活が便利	9.4%	10.8%	7.8%
親世代(子世代)と同居・近居	9.6%	10.8%	5.8%
親戚・友人が近くに住んでいる	6.2%	6.1%	4.5%

- ・仕事関係 (就職、転職) や結婚、住環境の改善をきっかけに転出しているケースが多い。転出先を選んだ理由においても、「職場・学校への通いやすさ」「交通の便」「日常生活の便」などの割合が高くなっている。

(4) 交野市の項目ごとの評価（転出アンケート）

① 住環境について

肯定的な評価 （良い・やや良い）の割合	第1回（H30）	第2回（R1）	第3回（R2）
地域の雰囲気	71.6%	68.7%	77.0%
自然環境	80.1%	78.9%	82.0%
治安の良さ	—	66.9%	72.1%
買い物など日常生活の便	38.9%	44.4%	59.0%

- ・「地域の雰囲気」「自然環境」といった住環境に関する項目については、第1回～第3回のいずれにおいても約7～8割の人が「良い／やや良い」と回答しており、高評価を得ている。また、第2回と第3回目にある「治安」の項目についても、約7割の回答が良いものであった。
- ・一方で、「買い物など日常生活の便」の評価に関しては、やや低い値となっているが、年々割合が上がっていることもあり、日常生活面での利便性に関しても向上しつつあるものと考えられる。

② 交野への愛着について

	第1回（H30）	第2回（R1）	第3回（R2）
交野が好き	68.6%	71.1%	71.6%
また戻って来たい	57.3%	59.4%	59.6%

- ・交野への好感度は、いずれの年度においても高い水準となっている。
- ・転出後にまた交野市へ戻って来たいかを問う設問においては、「また戻って来たい」と6割弱が回答している。